

競技上の注意事項

- 競技規則 平成30年度(公財)日本バドミントン協会競技規則及び同大会運営規程ならびに同公認審判員規程による。
- 競技方法
- 1、試合は予選はリーグ戦、及びトーナメント戦とし、3位決定戦は行わない。
 - 2、予選リーグ1位が決勝トーナメントに進出する。
 - 3、試合は代表リーグ戦・交流リーグ戦・交流決勝トーナメント戦は15点3ゲーム(上限21点)とす
代表決勝トーナメント戦は21点3ゲーム打ち切りとする。
ただし試合の進行上、ポイントを変更することがある。
 - 4、試合は第1シングルス、ダブルス、第2シングルスの順に試合を行うが平行して行うこともある。
 - 5、リーグ戦は全試合行い、トーナメント戦は2試合先取とする。勝敗が決定した場合は試合途中でも打ち切りとする。
 - 6、ゲーム間に2分、各ゲームでどちらかが先に11点(15点Gの場合は8点)を取った時点で1分を超えないインターバルを認める。
 - 7、インターバル中アドバイスが出来るのは、ベンチ入りしている監督またはコーチで合計2名以内とする。
 - 8、重複出場は不可とする。
 - 9、勝敗決定後のメンバー変更は、主審に申し出るだけで変更を可能とする。
 - 10、ベンチ入りは選手6名以内、監督1名、コーチ1名以内とする。
 - 11、連続して試合を行う場合は、前試合終了後5分以内にオーダー表を提出し、前試合終了10分後に試合を開始する。
 - 12、メンバー変更・メンバーの追加については、所定の用紙に記入のうえ、受付時に提出のこと。

トーナメント進出決定方法

ブロック1位が決勝トーナメント進出。

順位決定方法は以下の通りにする。

- ①得失ゲーム差
- ②得失点差
- ③当該チーム同士の対戦の勝者

4チームのブロックは以下の通り決定する。

第1試合 A対D 第2試合 B対C

第3試合 A対Dの勝者対B対Cの勝者

第4試合 A対Dの敗者対B対Cの敗者

※第3試合勝者が決勝トーナメント進出。

- 使用シャトル 平成30年度(公財)日本バドミントン協会検定合格水鳥球を使用する。
- 出場資格 平成30年度(公財)日本バドミントン協会登録選手でかつ同一クラブ選手で結成しているチーム。
- 開始時間 9時20分からの開会式終了(9時50分試合開始予定)
- 審判 相互審判で行い、主審は原則高校生以上とし、資格があることが望ましい。
なお、線審・得点係は選手が行ってもよい。
- 監督会議 9時15分より本部前で行う。

一般上の注意事項

1. 駐車場について
駐車場はありません。公共の交通機関をご利用ください。福生駅徒歩10分です。